

# Next Innovation.

香川大学発 研究シーズ活用レポート

Kagawa Univ. Case Study No.  
KAGAWA UNIVERSITY  
04



香川大学生が企画し、添乗員も務めるユニークな旅

## 香川での知られざる「体験」を学生が発掘 新しい旅のカタチが注目されています。

香川大学経済学部 学生プロジェクト またたび

「またたび」は、経済学部の学生プロジェクト。地元企業の新日本ツリスト株式会社と共同で、観光ツアーを企画しています。2014年に最初のツアーを実施し、今年の6月で27回を数えました。有名観光地ではなく、各々の地域が持つ知られざる「魅力の原石」を発掘。それらを組み合わせてバスツ



アーを企画します。今年2月に実施された「牡蠣&イノシシ堪能ツアー」は、「さぬき市の志度湾で養殖したカキを港で焼いて食べる⇒東かがわ市・水主の農園でレタスの収穫体験⇒東かがわ市・五名でのしし汁をメインにした昼食⇒同じ五名で草木染めのワークショップ」という内容。個人旅行では叶えられない体験が満載で、大好評でした。ツアーの企画は、時には半年以上も前からスタートします。ウェブなどで基本情報を得た後、現地に赴いて店やイベントなどのナマの情報を収集。協力してもらえ人脈も自ら築きます。ラフ案を設計したら、新日本ツリストの担当者の意見も参考に、協力してくれる方々と現地で話し合い、ブラッ

シュアップを続けます。ツアー内容が決定した後は、手描きのガイドブック、地図やメニュー表などを作成。当日は添乗し、自作の資料をもとにガイドを行います。体験の面白さに加え、これらの「おもてなし」と、参加者全員に積極的に話しかけ旅のパートナーとなる接し方に感激し、学生のファンになる方も多いのだそうです。



経済学部 西成典久教授  
専門分野 地域振興・まちづくり

## 企業、参加者、地域、学生 どれも笑顔にするビジネス

「またたび」は経済学部の授業をきっかけに生まれました。県内企業が自社の抱える課題を発表し、経済学部の学生チームがその解決策を考えるという授業に新日本ツリストが参加していた縁から、「本当にビジネスをやりませんか」と声がかかりました。それに応え、授業の一環として、大串半島と引田を巡る観光ツアーを実施したところ、予想以上の集客と反響があったため、学生プロジェクトとして引き継がれたのです。

「企画と集客で地元企業に貢献し、参加者に喜んでいただけ、観光資源の掘り出しで地域活性も行える、『三方よし』のビジネスが『またたび』です。さらに、学生は社会と関わる経験も得られます」と、アドバイザーとして関わる経済学部の西成典久教授。学生たちも、「企画力、交渉力、コミュニケーション能力、組織管理能力が身についた」と口を揃えます。観光客の受け入れ地が、その地域の特性を生かした観光を実施する「着地型観光」が注目される今日、地元学生が生み出す観光ツアーは県内外から注目され、日本観光振興協会主催の産学連携ツーリズムセミナーin関西において、「学生による観光振興に関するアイデア・研究発表」で最優秀賞を受賞した実績もあります。今後は、インバウンドを対象にしたものも検討中。世界に向けても、ガイドブックには載っていない香川の魅力満載の旅を提案してくれそうです。



matatabi  
Kagawa Univ. Tour Project for Revitalization of Local Community

《研究シーズ活用のご相談は》  
香川大学 産学連携・知的財産センター

〒761-0396 香川県高松市林町2217-20  
TEL.087-864-2522 FAX.087-864-2548

本学研究者の研究成果は、HPより確認できます。

<https://www.kagawa-u.ac.jp/ccip/>



## 嫉妬するほど(笑) 学生ガイドたちは人気。 観光業界の常識を打ち破る 発想に期待しています。

新日本ツリスト 近江明帆さん



着地型観光が話題になり、県内のコンテンツの強化を考えていた時期に、学生と企業のコラボというかたちで「またたび」を始められたことは、弊社にとって大きなメリットになっています。ツアーに協力していただく地域でも、参加して下さる方々にも、学生さんはとても人気で、時には嫉妬を感じるほど(笑)。コミュニケーションの触媒となってくれるので、企業単独よりも明らかに相手の反応が柔らかい。「応援したい」と思わせるひたむきさと愛嬌には、わたしも触発されています。ツアーの企画には、観光業界の常識を覆すような斬新なアイデアもあるので、できるだけそれを生かしつつ、プロからのアドバイスをします。ホスピタリティの意識が高く、ひとりで参加したお客様が孤立しないよう話しかけ、お土産に手書きのメッセージカードを添えるなど、至れり尽くせりのおもてなしを行ってくれるのですが、その情報や経験がデータとして保存され、担当者が代替わりしても引き継がれているのも素晴らしいと思います。学生時代からビジネスとして観光に携われるのは貴重な経験。卒業してからも、今のままの発想力と熱を持って、観光業界をリードしてください。



地元の方に教わった「こんびらふねふね」を踊って旅のフィナーレへ!